



YMCAピンクシャツデー

2021年2月24日(水)

新型コロナウイルス感染症への恐れは、
わたしたちの生活に不安をもたらし、心ない偏見や差別を生み出しています。
このようなときだからこそ、いじめの構造に目を向け、
一人ひとりが「傍観者にならない」、「自分ではない誰かのために」行動しませんか。
YMCAはそのようなポジティブで前向きな「よくなる」の連鎖を大切にします。

ピンク色のシャツは、いじめ反対運動のシンボル

2007年、カナダの学生2人から始まつたいじめ反対運動です。ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられました。それを聞いた先輩2人が50枚のピンクシャツを購入、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身に着けて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなつたそうです。このエピソードはSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに反対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の最終水曜日でした。それ以降、2月の最終水曜日に私たちもいじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す1日としています。

LINE #YMCAPINK
#StaySafe, StayConnected

YMCAでは全国で約4万人が賛同し、アクションを起こしました。
日々の活動においても、その思いを伝えていきます。



YMCAピンクシャツデー

webサイトへのアクセスはこちらから
<https://www.ymcajapan.org/campaign/pinkshirtday/>

